臨時町議会

木町役即刷所 役 東奧日報社事業局

◇出動時刻 勤

務

時

間

(三月末日まで 午前八時四

〉退動時刻

を

間

さる十月二十二日午前十時四十分から、役場会議室において第二十七回臨時町議会 年間予算八千二百余万円

が開かれた。今巖会の主な案件は、災害復旧と再建期間の一年短縮、職員給与改訂等

され、一件は否決となり同日午後五時終了した。 ぞれ増額となり、児童措置費補助 が七〇五千円減額となつた。県支 で蒔田小学校災害復旧補助四一一 措置費四二四千円増、国庫支出金

増額となり、時田小学校災害復旧

寄附金六〇千円、雑収入二二千円

大の損害を与えたが、当町でも岩

にひんし、消防団必死の努力にも

って審議に入り、それぞれ次

なるものについては普通交付税 九千円それぞれ増となった。 十円の増、財産収入では、町有 一件は一括審議に入り、歳入の

助

役

木立民五郎

3

祭戸、被害水田約千四百町歩にわ

所から再度の浸

123

4

5 67891011

歲

款

12345 6 7891112314

颜 出

入戲

使用料

合

合 計

計

出

別

被害状況の概要

国光 藤井德太郎(

干四名

【写真=ずらり並んだりんご籠】

己品評会

国光 外崎浩 (川倉) ▲銅賞 (二下五名) 中谷平三郎が

木) リチャード 太田助七(金木) 海正直(嘉瀬)国光 太田徹(金

合に

十七日の二十二

昭和33年度

及

流沢部地区の堤防が欠壊し、時

昭和三十三年度金木町歳入歳出

歳出では、消費的経費のつち人件の通りそれぞれ運任された。 昭和三十一年九月以来室席中の町 第十三回定例町議会において、 別職の選任について提案され、 三役は去る九月十九日招集された

改訂と条例改正による職員手当五 員中の報酬三七五千円の減、給与 費で、給与改訂と暫定手当、扶養 〇九千円、その他八五千円増額さ一その他一〇〇千円で、大東ケ丘林

円、町道下水三五〇千円、 實二七八千円、教育費備品五九四 質費用弁償八四三千円、維持修繕 實三三四千円、原材料三〇六千円 報償費その他で一八五千円

三千円、嘉瀬支所新樂費二五〇千 千円で、その主なるものは貯水槽 投資的経費では、総額二、四一四

冠水田

は

PU

百

既決予算額

1,125,000

1,185,900

5,926,705 1,658,450

71,644,153

既決予算額

1,863,630 16,727,809 2,850,398 1,973,000 4,969,804 636,212 5,342,580 577,667 134,500 558,107 9,730,000 6,013,846

71,644,153

445,600

研修費で一一千円、保険給付費、 三〇八千円(前年度繰越金)歳出

鳴海健吉

本件は事業勘定においては、歳入

◇昭和三十三年度喜良市国民健康

保険歳入歳出追加更正予算の件

前年度繰上充用金三、六二二千円

越)三、六二三千円は、支出面で 道事業では県補助が五〇〇千円が 五〇千円、諸支出金二 勘定繰出金一八〇千円あり、直診 定繰入金一八〇千円を増額した。 金四二千円減、雑収入で、事業勘 影廣費報酬五八千円減、一部負担

◇金木町役場の支所設置条例一部

所を移転するために、左記の通り 位置の変更をしたものである。 嘉瀬保育所の新設により同地に支

右補充員は次の四氏が当選した。

39,446,242 25,509,000

1,493,500

1,185,900

82,262,804

22,032,983 5,589,904 651,212 5,856,207 646,457 134,500 604,068 10,082,611 10,834,290 350,000

82,262,804

合

(単位円)

計

割

合

2.87% 21.61 3.67 2.82 26.78 6.80 0.79 7.12 0.79 0.16 0.73 12.26 13.17 0.43

100.00

869,300

3,622,444 5,388,000

368,500

424,200

10,618,651

10,618,651

上事施行者として客附されたもの 本町道路舗装改良工事について、

◇専決処分報告の件(原案可決) ルプ材 一五円』を加え、去る上 これは町税条例の一部を改正す

◇金木町選挙管理委員会委員補充

これは金木中学校の備品として寄 今回の追加更正予算の決議によつ 田中柳吉(蒔田) 伊藤儀市(金木)

10月

日 あ

あ

予算、追加予算、割合率は左表の

は八千二百余万円となつた。既決

四旦馬 |議長、正副各常任 | 三十日 教育委員会

1.81

1.06

1.44

7.32 1.57 0.01

当町の昭和三十三年度総予算

町第三保育所落成

小学校上棟式

二十七日 総務常任委員会、川倉

総務各常任委員

二十九日組合立金木病院議会、

教育民生委員会

財産区残務処理委

二十二日 臨時町議会 十八日農業委員会農地部会 十 六 日 教育民主常任委員会

木) 国光 中村勝治(金木) 国光 木下石雄(嘉樹)ゴールデン鳴 沢田千代治(金木)スターキング)インド 国山光長 自川政次郎(金

次の通り。 一世 尺浸水 した蒔田小学 八尺の浸水を 【写真=床上 減収石数 一四七 出品地域は金木町全域、五所川原 町保育所において開催された。 は三〇〇名の多数にのぼり、審査 ◇園体質=優勝旗、カツブ りんで組合(組合長 り、またカツプは田中忠治氏上 優勝旗は名古屋中央青果会社と

は、刈入れ時の天候不順で遅れて

いる国民たすけあい共同募金運動

目標を達成したいので町民ので協

るが、町当局では年内には割当

力を要望している。

十月一日から全国一湾に行われて

募共 金同

に協力を

わけ大きくとりあつかうように

りました。これはまことに好

る報道機関は人権問題を、とり

さましいものがあったと思われ

の内容をもつ自由ないし権利が

そのようなことから一九四八年

(昭和三十三年) 士戸、バリ

国の憲法には人権保証規定が強 か。さきにも述べたようにわが

が起つたり、また、人種や思想

を異にするものに対する差別待

点や、圧迫も露骨に行われてい

農産物関係

一七二二五四

一三、〇七七石

分

被

害概算額

概

被

害

総

括

表

真の人権奪重のないところに、

農地 関係

11, 1100

も、平和な社会もあり得ないの

民生関係

0

四六

世帶小破一

土木関係

0

く打出されているにもかかわら

擁護し尊重しなければならない

く世界人類の人々がこの制度を

において行われるようになった

国際社会においても、世界人権

木田 忠雄

六〇ミリの豪雨によつて岩木川

干・一号台風は岩木山麓に降つた

ますが、これを要約

から今年で一・周年になります

ましいことだと思います。

りん、人植侵害というような

た子供にまでほとんど日常語

ことができましよう。この人間 要な人間としての権利』という おいて幸福な生活を営むのに必

これが『すべての国民とすべて おいて世界人権宣言が採択され

ず、大小の人権侵害事件が続出

封建的因習が強く根をはつてお しております。特に東北地方は

の実をあげてゆくべきだと思

われわれは各人の周囲から人権

守るという運動は、国際的規模

当強く残つております。

九五、〇四八

图00

権問題、人権尊重、人権じゆ

泉谷義昭(川倉)インド ◇個人賞=▲金賞(五名) りそれぞれ寄贈されたもの。 (同) スターキング

町内から買つて出かけましよう。 喜良市 三六、七〇〇円 当町の割当額は次の通りである。 費税が入りますから、出張の際は 町内の煙草店から買うと、町に消 金木九六、五五〇円 ◆たばこは町のお店から◆ (計)一八四、七〇〇円

対策 本 部

納整理に馬力をかけ、時には強制執行にも当つている。 いのりだし、着々と好成績をあげているが、年度末から新年にかけ、税務職員は休日を返上して滯 三局では去る十一月一日から徴税対策本部をおき、木立助役がみずから堕頭にたつて滯納整理

一千余万円となつている。 こされている滯納額は過年度約 微税成績の如何にかけられてい ことは、早くから県からも指摘 極力努力して来たが、現在 町でもこれが計画実施にあ 適用以来、財政再建の成否一一日もゆるがせにできない状態で一滯納村がそのまま引継れて、それ

冉建期間が一年短縮され、償還金 さらに本年度の計画変更によって 一を了解し、率先して納税に協力さ 木立対策本部長の話= れるよう希望している。 す問題は滯納税金を如何に処理す るかということだと思います。 いつの時代でも理事者が頭を悩ま

ある。町民各位も、町財政の事情一がほとんどかけ声整理に終つて会 のに予算だけはどんどん行使され

組合組織で運営

管理者は津島町

ひき起こすものである。

ように進んでいるが、隆雪期

七

日 土木常任委員会

日 寄附採納感謝状胎星

林商工常任委員会、物産共進会

日第三保育所入所式、農

あしあと

(喜良市)

査され、すでに建

注意心がゆるむと、 思わぬ大事を

の増額となり、もはや漕納整理は一金木町は合併以前から相当以上の一実体は、今日強制執行までにゆか 動き出来ない金木町になったこと アドバルンだけのふっせん町政の

厚生連金木病院として西北地方に一たが、八月二十三日町議会にお

るものと考えます。 の建全財政の第一歩は税の正常 はければならないことをお互い反 収納あつてはじめて基礎づけら

も三子も行かない段階に来ている一よっ伏してお願いする次第です。 思いますが、金木町の財政はニチ あるいはお怒りの点もあることと一力を願つておりますので、町民の 町民の皆様にはいろいろ嫌な思い一特に町指導者、諸先輩に率先御協 皆様にも何分の御力添えを下さる 以上の点でまことに不本意な滯納

期に入つたので、詳細説明会を開 次・で十月一日契約調印し、こと を金木病院において盟催し、組合

写真ニュース

木川が増水して蒔田県道をの

空海陸

自衛官募集要項

◆年齡 十八歲~二十五歲末満 ◇受付・十一月二十日から一月一

◇試験 一月二十日から1 | 月五日

四日まで

◇庫給 約六千二百円 (二十)

までの間

お問合せ下さい。

わしいことは総務課自衛隊係に

(ほか各手当、衣服支給)

公立金木病院発足 十二月二日までとなつているが 始まる全国火災予防運動は、 を防ごう!火災の最も多 歳末の火災

のです。このことについては農閑

ど、こんろの使用が多くなり、ま こたつなどの暖房用としての火気

上される公算が強

いたが、このほど 早期着工を待つ

九日金木高等学校演劇発表 九日—十日 金木小学校文化祭

者を喜こばせてい

十二日 新農村建設協議会

①財産取得の件、②病院設置の件

組合議員には町麓会議員のなかか 議会議員互選の件、が可決された

ダム建設予算

会(会長木立民五郎)を組織し、

二十一日一二十三日 りんご品評

員協議会、農業委員会農地部会

に傾情していたも

ダム建設期域同盟

悲のため、九月上

二十日 総務常任委員会、民生委

中学校統合打合会

て、不應の火災を防ぎましよう

山猛太郎、蕩西泰朗、木村源四郎

てで酸会が組織されている。

強

ので、同ダムの完成によつて金木一二十二日・暮良市小学校八十周年

小田川各流域千七百余町歩の

金木地区旧競馬

二十七日 小田川期成同盟会役員

会、教育民生常任委員会

よつて組合設立認可申請を九月六一小田川ダム建設については、昭和二十九年度より農林省およれ

陳情して実現を期することになっ

田され、年間約九千石の増収が見

二十九日 農林商工常任委員会

新年名刺交換会

国家事業である。

場附近の原野約二百町歩が新規開

多年の夢が実現するか

②農薬等の購入費に対し助成措置 人災融資法の適用により営農資

⑤耀災農家に対して所得税等の減 ③展業災害復旧事業費の早期交付

ル予選審査が行われ、当町より三 さる九月十八日五所川原保健所に 者が決定した。なお近く賞状授与 下ベビーコンクー 次の一四名の入賞 長女 八子 長女 稔子

营野松男二男 昭彦、前田清則 义男長女 淳子、沢 止治、上野千平二男 | 収穫の秋でもあつた。 社長男 善彦、工藤 〇…十二月もあとしばし、喜びも

2、土木関係

前十一時

赤ちゃんコンクール

合時 昭和三十三年一月一旦午

△場所 金木町第一保育所

△会費 一人当り

参百円 参加希望者は役場総務課 申込み願います。

〇・しばらく休刊して、もっしわ △締切 士一月二十九日正午まで けありませんが、どっやら十二月 集後 記

の被害をうけた方々には気の事な 〇:恵まれた豊作のなかで、台風 号を発行することになりました。

落成

八月上旬、嘉瀬の伊藤正一氏が請一四名動務している。 不町第三保育所(嘉瀬) これていた | 収容定員は六一名であるが、現在 支所も同地に建築中 男三二三名、女二二四名で保母は

で育所は七一七坪半のトタン音 なお同所で支所の事務をあつかつ 十二月中には完成移転の見込み。 ているが、支所は目下工事中で、

【写真はスマートな保育所】

金木、中里両町ではかねてから準 組合病院発足までの経過の概要は 車を含んで価格は七二〇万円、全 合管理者は金木町長津島英治氏が 備委員を挙げて促進に努力して来

庁內 配置図

会計係鳴海勇治 ◇総務課 総務課長小野四郎、総 死在各課の配置次の通りである。 八月一旦以降数次にわたり、人事一臣、中山三秋 課次長野宮正三、庶務係長田中 長野崎昌一、社会福祉係長中谷専 ◇社会福祉課 社会福祉課長西沢 小市郎、社会福祉課次長氣戸籍係 勘七、土岐伊久雄、山中勝雄

手洗所

員今氣器、臨時田中勇治、 ◇建設課 建設課長白川常一、係 武男、農林商工係長山中往 、使丁鳴

係員今幸八郎、須崎田美、逢坂伸一員大橋隆治、角田三治雄 長石衛門、財政係長石戸谷由雄、 入稅務課 稅務課長岩村粂太郎、 ◇圓林爾工課農林商工課長三上

◇教育委員会 教育長高橋四郎 ◇農業委員会 農地主事松江世三 係員小山内繁四郎。三浦禅雄 郎、係員今由吉、工藤栄、西村節 ◇議会事務局 事務局長田中実

九月下旬発生した台屋ニー・一号及 災害復旧を陳

②町村道の整備

①欠壊堤防の早期復旧。

4、厚生関係

助長女・千香子、山・一乏しさをまた様忍す年の暮、、吉田賢二長男・隆一つ。

国明、葛西二郎長一悲しみも忘れて新年を迎えましょ

3、 耕地関係の復旧事業豊獲

◇金木町第二保育所 所長(銀務) 保母福士玲子、笹木雪江、藤

◇金木町第三保育所 所長代理山 理士佐藤恭子、使丁阿部アゴリ 施子、花田誠子、溜井美智子、調 よつて、さる一一月下旬から行わ 方の石油調査はいよいよ石油資源一附行為について感謝状の贈呈があ 地下資源開発の一環として、かね一金木町遠藤ミシン商会(店主遠藤 二班に別れて、町内各地の実地調 同調査団は一行六十余名が来町し から調査を要望されていた当地一彌之助)に対し、金木町長より寄

軍軽一帶の石油の夢を実現させて 学の力による精密な調査の結果は 表彰される 奇篤な寄附者

はじめ教育関係者を感激させてい

の予約米の概算金返納に関

別措置を講ずること。

それぞれ中学校備品として贈られ

ン二台、遠藤ミシン商会より一台

用として、同校P・T・Aよりミシ

これは金木中学校女子家庭科実習

去る十月二十二日町議会で寄附採

出 納

縣文雄、賦課係長白川重一、係員

◇喜良市支所 支所長三上恭太郎

係員岩村久美、使丁尾野伝作